

鳥取北ロータリークラブ

Rotary



THE ROTARY CLUB OF TOTTORI NORTH 2023 ▶ 2024

例会場: ホテルモナーク鳥取 例会日: 火曜日12:30~13:30

国際ロータリーのテーマ



● 会長 …… 入江 容子 ● 副会長 …………… 水野 治郎

● 幹事 …… 田村 博信 ● 会計 …………… 植田 哲朗

● SAA …… 米田由起枝 ● 広報・プログラム委員長 …… 田中 英剛

世界に希望を生み出そう

■ 創立: 昭和36年2月23日

■ 事務所: 鳥取市扇町22-1 山陰合同銀行鳥取駅南ビル

Tel.24-3536 Fax.29-6741

E-mail kitarc@infosakyu.ne.jp http://www.infosakyu.ne.jp/kitarc/



本日の例会

2023年12月5日(火)

第3007回

◆君が代・奉仕の理想

◆年次総会

◆100万ドルミール

※例会終了後、定例理事会

◆委員会事項
誕生日御祝

「梨花の間」

次回の例会

2023年12月12日(火) 四つのテスト 第3008回

◆ロータリーソング ◆卓話

我等の生業

「人生90年時代の生き方

(健康寿命を延ばすための
生活習慣)」

◆献立 カレー

※席くじ

尾崎病院 内科医 木村正美氏

先週の例会

2023年11月28日(火)

会長挨拶

先週はロータリーの行事が続き忙しい一週間となりました。

11月19日は、バードスタジアムサッカー場でガイナレ鳥取の試合を応援すると共に、サポーターの皆様にご協力を得てポリオへの理解を深めて頂き、来場者に対してポリオ根絶への寄付活動を5クラブ合同で行いました。各クラブの会長・幹事、会員と共に来場者へ寄付のお願いと共にポリオ根絶への理解をも含めての啓蒙活動を行いました。

また11月22日には、小春日和のなか鳥取北ロータリークラブの会員と湖南学園の5年生と共に、里山整備事業を東部森林組合の皆様の援助を頂きながら行いました。里山事業は私たちが住んでいる地域の

自然を守り、地域への愛着を持ち続け次世代に引き継いでいくことが大切だと思います。

植樹を行った場所は三山口の里山で5年生の児童と共に、クヌギの苗木を植樹しました。

また今年初めて学校の敷地内に記念植樹を行い、「やまぼうし(赤、白)とタイサンボク」を植樹し標柱を設置しました。

私は現場までとても行くことが出来ないと思っていましたが、皆様に助けられての応援ご協力で何とか現場の山まで行くことができ、児童と共に植樹をすることが出来ました。

里山事業に参加いただいた皆様ご苦勞様でした。ご協力ありがとうございました。

幹事報告

1 到着文書

石倉ガバナー事務所より

・ロータリー米山記念奨学生との交流事業について
今年度受け入れの無いクラブと米山記念奨学生との交流に対し費用を助成する

・ローターアクト役員の報告について、今年中までに完了すること

2 例会変更・メイクアップ情報

なし

3 その他連絡事項

・11/14の財団寄付BOX23,800円ありました。

11/19の東部5クラブ寄付と合わせて財団へ寄付します。

・年忘れ家族会12/19の出欠は本日まで

・12月と1月の出欠の記入をお願いします

・本日は無記名スマイルBOXを回します

委員会事項

◎出席率報告

11月28日 会員46名中 出席33名 出席率71.74%

◎入会記念日御祝

植田哲朗さん(34年)

メイクアップ

11/19 東部5RC合同ポリオ事業

入江容子さん 田村博信さん

11/22 R財団里山整備事業

入江容子さん 田村博信さん 小林弘尚さん

田中英剛さん 田中和夫さん 谷口昭二さん

千金周一さん 塚田 隆さん 寺本光孝さん

福田 収さん 松永宏之さん 水野治郎さん

森下泰年さん 結城崇彰さん

スマイル報告

(本日28,000円 累計 381,555円 前回 325,555円)

入江容子さん 里山へ参加の皆様、お疲れ様でした。晴天で最高の日でした。

田村博信さん 19日の東部5クラブ合同ポリオ撲滅キャンペーン、22日の里山整備事業、共に天候に恵まれ無事終了いたしました。ご協力ありがとうございました。

植田哲朗さん 日本郵政のハガキの交換手数料が、従来5円だったのが、99枚までが5円で100枚を超えると10円になりました。困ったことになり頭を抱えています。

グルメの会より 11月16日“ブランシュ”でグルメの会を行いました。グルメの会参加者よりスマイルをさせて頂きます。

山根京子さん 22日の里山整備事業お疲れ様でした。お休みをいただき子供たちに会いに東京へ行きました。2016年の米山奨学生、董さんにも会い懐かしく歓談しました。大学教授を目指し猛勉強中です。

スマイルBOX 9名

※2大御祝(本日2,000円 累計54,000円 前回52,000円)

卓話【2023～24年度里山整備事業報告】

寺本光孝さん

22日に行われた「里山整備事業」に参加された皆様お疲れ様でした。当日は米山奨学生にも参加して頂きましたし、毎年の事ながら東部森林組合さんの御協力を頂き大成功の事業でした。



地区補助金を使つての全体事業でございます、都合がつかなかった方も次回は参加して頂き一緒に汗を流しましょう。

例会では東部森林組合さんとの関わりや地区補助金の流れ等について話しをさせて頂きました。第一回からお世話になっている東部森林組合さんとは友好関係が続いております。知らないことが多く、伐採や植樹についてまだまだ教えてもらう事があるのではないかと感じました。

補助金の関係につきましては、色々な方と話をさせて頂き、それぞれ思いを聞く事ができ非常に勉強になりました。工夫をされ知恵を出し合い、今の事業が継続出来ているのだと感じました。今後も引き継いでいく為に、参加させて頂こうと思います。

この事業に参加しなければ・・・また、事業報告をする事にならなかつたら・・・こんな疑問を持つことも無かつたでしょう。調べて行くうちに奥の深い事業だと改めて思いました。

色々教えて頂いた植田さん、事務局の山根さん、ありがとうございました。

森下泰年さん

11月22日、今年で7年目となる里山整備事業を実施しました。鳥取県東部森林組合の協力を得て、今回は鳥取市三山口地区で地元・湖南学園の5年生児童と協働でクヌギの苗を植樹しました。鳥取北RC17名(※米山奨学生2名、事務局含む)、湖南学園児童16名、森林組合の職員の方数名の約40人が参加



しました。

当日は絶好の晴天に恵まれ、まずは湖南学園で開会式を行い入江会長の会長挨拶、次に森林組合の嶋沢組合長より、森林保全・里山整備の大切さのお話を頂きました。その後現地までバスで移動し、クヌギの苗の植樹を開始しました。児童は苗をあらかじめ段取りされた植穴に植えこみ、その横にそれぞれの名前を記載した竹の札を立て込むという要領です。植樹後、現地で全員の記念撮影を行った後、再び学校へ戻り、今回は新しい試みとして学校の花壇に「記念の標柱」と「記念植樹」(ヤマボウシとタイサンボク)を行いました。児童の思い出として刻まれ環境意識がより高まったものと思います。

この事業はクラブにとって委員会単体事業ではなくクラブ全体で行うプロジェクト事業です。役割分担を明確にし、連携を密に早期より準備していくことが肝要です。

そしてRC・森林組合・学校が三位一体となってマンネリ化することなくブラッシュアップしながら継続していくことがRCの公共イメージを向上させていく上で極めて重要だと改めて痛感しました。

社会・環境委員会 委員長 千金周一さん

今回で7回目を迎えた里山整備事業ですが、事業の流れ自体は一定のフォームが出来上がり、より完成度を高めている様に感じます。



しかし次年度以降さらに良い事業とする為に、今年の反省も込めて取って課題をあげようと思います。

先ずこの里山整備事業は何が素晴らしいのかをクラブ全体で共有し、鳥取北RCを代表する事業として活動していかなければならないと思います。

各RCが行っている奉仕活動のなかで植樹活動というのは特別珍しい事ではない様に思います。しかし毎年場所を変えてその地域の子供達と一緒にいうところこの事業の意味があると私は感じています。竹林を伐採しくぬぎを植えていく作業自体は日々森林組合の皆さんが行っていますが、何故そのような事が行われているのかを考える機会をクラブ会員と地域の子供達で共有するというのがこの事業の一番のポイントだと思います。

私達は既に7つの地域の小学生や先生と関わってきました。今回は嶋沢組合長が森林の役割をテーマに事前に小学校で授業を行なう予定でしたが学校側との調整が取れず残念ながら実現には至りませんでした。しかし閉会式での生徒代表の挨拶にはこちらの意図をくんだ立派な挨拶が行われ、それはとても喜ばしい光景でした。植樹自体は1時間にも満たない短いものですし、段取りもほぼ森林組合さんによって出来上がっています。次年度以降、この事業を繰り返す事はさほど難しいとは思いますが、子供達と一緒にいかに多くの大人達にこの事業の意図を理解してもらうかを考え工夫するのが我が北クラブの仕事だと思います。子供達へのアプローチ、広報のやり方などに更なる工夫をしていく事が次年度以降の課題となると思います。

(担当 植田哲朗)